

単元名 あの日あの時の気持ち(絵)

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) うれしかったことやその時の気持ちが表れるように、形や色を見付け、かき方を工夫することができる。
- (2) うれしかったことやその時の気持ちを思い浮かべ、どのように表すとよいか考えるとともに、友達と作品を見ながら、表したかったことや表現のよさ、面白さを感じ取ることができる。
- (3) うれしかったことやその時の気持ちを絵に表すことを楽しもうとする。

標準的な展開例

03080202_001

【準備等】画用紙、色画用紙、水彩用具一式、コンテ、クレヨン、パス、サインペン、色鉛筆など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 今までの生活の中で、うれしかったり、感動的だった場面や場面を思い出し、絵の構想を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の生活を振り返り、発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・花のいい香りがした ・誕生日にケーキを食べた <p>★うれしかった気持ちが伝わるように絵をかこう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○絵の構想を練り、スケッチに表す。 <ul style="list-style-type: none"> ・いつ ・どこで ・だれと ・どうした ・その時の気持ち ○スケッチを基に、画面の構成を考えて、下絵をかく。 <ul style="list-style-type: none"> ・一番かきたいものの位置 ・人間の動きの様子 ・周りのものの様子 <p>2～5 表現を工夫しながら、彩色する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○表現の工夫を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・混色 ・にじみ ○中心になるものの調子を整えながら、彩色する。 <ul style="list-style-type: none"> ・中心になるものの表情や色の工夫 ○全体の調子を整えながら、作品を完成する。 <p>6 友達の絵を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分がかいた作品に対する思いやそのときの気持ちを作品カードに記入する。 ○友達の作品のよさをみんなで話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書3・4上 P.24, 25 ・うれしかったり、感動したりした場面がどんな場面で、そのときの様子や気持ちはどうだったかをより具体的に思い出させ、メモを取らせるとよい。 ・スケッチの段階で、児童の絵に表したいことをとらえ、彩色などの表現方法への助言をしていく。 ・小さな説明的な絵にならないように、大きくのびのびとかかせるようにする。 <p>【評】気持ちが伝わるよう、どんな場面をかくか考え、そのときの様子が伝わるように構想を練る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下絵はスケッチを基に画面構成を考えて、かかせる。 ・自分が一番表現したいものを中心にし、そのときの表情やしぐさを大切に捉えさせる。 ・水彩絵の具の基本的な扱い方を指導する。（教科書P.58, 59参照） ・絵の具だけでなく、表したいものによって、色鉛筆やコンテ、クレヨン、パスやサインペンなどの用具を選ばせてもよい。 ・かいている途中で、自分の意図しているものが表現されているか、確認させる。 <p>【評】自分が感じた気持ちに合うように、絵の具や材料を工夫して表現する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の下部に作品カードを貼らせる。 <p>【評】友達と絵を見せ合いながら、表したかったことや工夫を感じ取り、絵を味わう活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】作品やこれまでの学習活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

特別な教科道徳との関連について

C - (17) 「他国の人々や文化に親しみ、関心をもつこと。」との関連が深いため、教科書P. 25 「外国の友だちの絵」を取り上げ紹介するとよい。